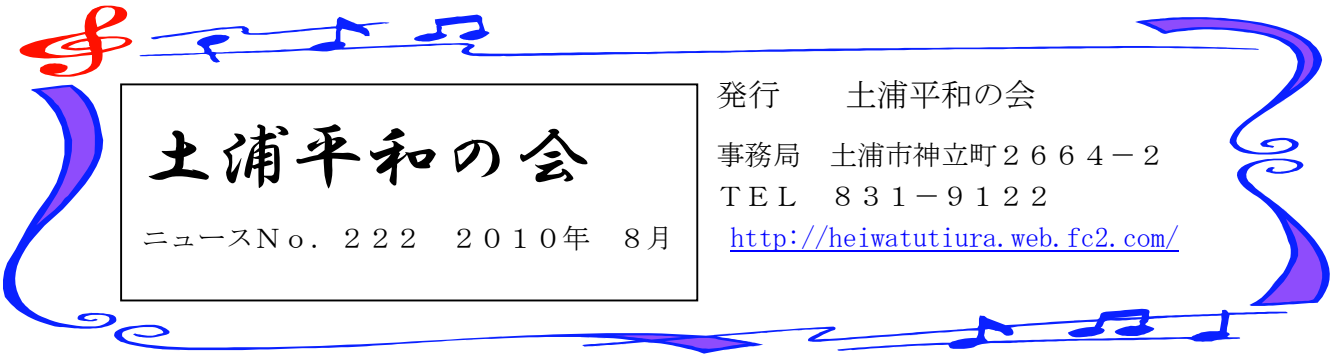


私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 222 2010年 8月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

2010年原爆慰霊式平和祈念式典あいさつから

広島市長

「ああ、やれんのう、こがあな（こんな）つらい目に、なんで遭わにやあ、いけんのかいのう」被爆65年経っても苦しみ続ける被爆者の声。この日広島市長は世界に向かって訴えました。

「全会一致で採択された最終文書（NPT再検討会議）には、核兵器廃絶を求めるすべての締約国の意向を尊重すること、市民社会の声に耳を傾けること、大多数の締約国が期限を切った核兵器廃絶の取組みに賛成していること、核兵器禁止条約を含め新たな法的枠組みの必要なこと等が盛り込まれ（中略）核兵器廃絶の緊急性は世界に浸透し始めており、大多数の世界市民の声が国際社会を動かす最大の力になりつつあります。（中略）いまこそ、日本国政府の出番です。核兵器廃絶に向けて先頭に立つために、まずは、非核3原則の法制化と「核の傘」からの離脱を」と述べました。

菅首相

「唯一の戦争被爆国であるわが国は「核兵器のない世界」の実現に向けて先頭に立って行動する道義的責任を有していると確信をいたします。（中略）日本国憲法を順守し、非核3原則を堅持することを誓います。」

どこかで聞いたようなあいさつですが、そのあとの記者会見で「国際社会では、核兵器をはじめとする大量破壊兵器の拡散の現実もあり、わが国にとって核抑止力は引き続き必要だと思っている」と「核の傘」離脱を否定しました。

「核の傘」は米艦船や航空機による核の持込を前提としていることから非核3原則の堅持という約束とは相容れません。非核3原則の法制化についても明確な態度表明をしていません。

バン・ギムン国連事務総長

「私は9月に国連本部でハイレベルの軍縮会議を招集する予定です。そのためには、核軍縮に向けた交渉を押し進めなければなりません。それは、包括的核実験禁止に向けた交渉です。また、兵器用核分裂性物質生産禁止条約（カットオフ条約）に向けた交渉でもあります。」

広島県原水協と被団協が抗議文

菅首相が記念式典で「核兵器のない世界」の実現に向け先頭に立って行動する道義的責任を有していると述べたにもかかわらず、記者会見で「核抑止力」が必要と語ったことは「まったく矛盾するものであり『二枚舌』と言われてもやむをえない」「『核抑止力』論を否定し、『核の傘』からの離脱を明言してこそ被爆国首相の発言として信頼が得られる。」として抗議文を送付しました。

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

2010年世界大会国際会議では

4日の閉会総会で採択された宣言は

「(前略) 核兵器の脅威を根絶するには「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界の平和と安全」を達成する以外にない。核保有国とその「核の傘」のもとにある同盟国に、これと決別するよう迫る広大な世論と運動が必要である。(中略) 被爆国日本が米国の「核の傘」に依存することはアジアの平和と安全、「核兵器のない世界」の実現にとって重大な障害である。」と日本政府の政策の転換を求めています。

長崎でも菅首相「核抑止力」発言

9日「被爆者代表から要望を聞く会」(原爆遺族会、県被爆手帳友愛会、被爆者協議会、被爆者手帳友の会、県平和運動センター被爆者連絡協議会の5団体)は菅首相、長妻厚労相に対して、共同でまとめた要望書を提出して懇談しました。この席上でも「核抑止力」は必要と語り、同日の記者会見においても「北朝鮮の核開発を含めて世界から核がなくなる状況になっていない」「核抑止力に一切頼らないですむ世界を目指す、それに至っていない中では、現在はそういうことを考えざるを得ない」と改めて強調しました。

原爆遺族会の正林会長は「広島、日本、世界の人たちが慰霊をする日に核兵器を肯定するような発言をしたことに、みんな泣いている」と訴え、世界中で高まっている「核兵器のない世界」への流れに再三にわたって冷水を浴びせる首相の姿勢に批判が集まっています。



パネル展を見入る入場者

する関心のたかまりも有ったのではないのでしょうか。ピースデーの入場者も260人でした。

多目的ホールを使えたことも良かったのかもしれない。

「核兵器廃絶」が現実の目標になった今

年々盛り上がる「原爆と人間展」

今年も広島と長崎の原爆記念館から借用した70枚のパネルが県南生涯学習会館のギャラリーとホワイエに展示され、8日間で約2,400人の入場者がありました。例年はキララ祭と重なって盛況でしたが、今年は特別のイベントもないにもかかわらず多数の入場があったのはアニメ映画「アンゼラスの鐘」に対する期待とあわせて「核兵器」に対



平和祈念式典参加の報告をする代表团

活動ごよみ

7・29～8・6 原爆と人間展(県南生涯学習セ)

8・3 ピースデー

8・15 8・15 平和の集い(土浦市民会館)

8・24 平和の会理事会(コープ)

9・4 九条の会あさひ基地見学

9/13・14 日本高齢者大会(茨大・武道館)

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください